

新幹線プレス

2016年10月7日

No.305

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

「ボーナスカット裁判に勝利しよう！」 #13

減率適用あいきの指摘だ！

記憶にない事象が次々と出てきた！

平成26年の成田隆浩・JR東海労新幹線地本委員長に対する不当なボーナスカットの理由になった、11名の管理者による報告内容 **第10弾!**

これまで紹介した管理者が報告したという事象は、本人が記憶にないものが多いです。検査はしっかりやっているにもかかわらず、手順や喚呼の細かい違いをあげつらい「非違行為」の数を増やすことで減率適用をむりやり行っていると思えません。

年末手当事象No.16…山崎哲男助役の報告（陳述書より抜粋）

平成26年7月13日、N700系（X70編成）の仕業検査を担当していた成田社員は、仕業検査チェックシートの「ATC情報確認画面」「パイロット、CHR0の『ON』を確認したか」欄のチェック欄の記入を行わなかったため、同月14日8時20分頃、検修当直において、私は成田社員に対して注意指導を行いました。

年末手当事象No.17…渡辺幸一助役の報告（陳述書より抜粋）

平成26年8月9日20時50分頃、庫6番線において、N700A（G15編成）の仕業検査を担当していた成田社員は、ブレーキテストの際に、モニタでBC圧の確認を行うべきところ、これを行わなかったため、私は成田社員に対して注意指導を行いました。

年末手当事象No.18…中村滋助役の報告（陳述書より抜粋）

平成26年8月9日、700系（C53編成）の仕業検査を担当していた成田社員は、仕業検査チェックシートの「確認者」欄の記入を行わなかったため、同月11日15時45分頃、検修当直において、私は成田社員に対して注意指導を行いました。

次回は 10月19日 13時20分より（東京地裁527号法廷）

原告…成田隆浩・地本委員長

被告側証人…渡辺助役

組合員は地裁へ最大結集しよう！！